

大東市立歴史民俗資料館

学芸員の雑記帳

講演会と企画展の閉幕

「青葉が眼にしみる」という時候の挨拶のように、木々の緑がまぶしい季節となりました。そんななか、企画展「大東の風景」は期間中、2000人を超える方にご来場いただき、幕を閉じました。

有終の美を飾って頂いたのは、吉村和真先生の講演会「マンガで振り返る、55年」。参加された方から「あっという間の2時間でした」とアンケートに書いて頂きましたが、私も時計をにらみながら「あと30分しかない」「あと、20分だ。先生、質問の時間要らないです」と心のなかで唱える程、もっと聞きたい講演でした。

「メディアと読者層の変遷を中心に」というサブタイトルからわかるように、単にマンガ史としてマンガの歴史の説明に止まらず、マンガを通じてそのマンガを読んでいる人、読ませているメディアの変遷をもお話いただきました。

また、実際にマンガを読みながらのマンガの解説や、「はだしのゲン」は当初ジャンプに掲載されていたんですよ、といった豆知識まであり、あらゆる世代が楽しめるマンガの話になったのではないのでしょうか。



↑アンケートには先生の紹介された「アトム最後の」「おせん」「ガロ」を読みたくなりましたという声がありましたが、皆さん是非、京都国際マンガミュージアムへ！！